

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日 令和7年 4月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	1	・車椅子、バギー、ベッド外で寝る児のスペースを確保できている。 ・必要基準を満たしている。	・利用児の人数、状況によっては手狭に感じ、支援室内で収まらない時がある。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	4	・基本配置の基準を満たしている。 ・利用児に対し、個別に支援が出来る人数を配置出来ている。	・送迎などで職員数が少なく感じることがある。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	1	・特性に応じてパーテーションを用いて区切るなどの対応が出来ている。 ・スロープや多目的トイレなどバリアフリー化も出来ている。	・支援に使用するものやおもちゃなどが取り出しにくい場所に置かれていることがある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	4	・利用児の活動に合わせ、スペースを調整している。 ・パーテーションやカーテンで刺激を少なくした対応をしている。	・温度が高く、棚などにカビが発生しやすく掃除をこまめに行う必要がある。 ・ムカデなどの虫が室内に発生することがあり、対策が必要となる。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	1	・必要に応じてパーテーションを用いて、個室を作り使用している。	・場合によるが、利用児に場所の使用が出来ないことを伝えることが多いと感じることがある。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	5	・会議やミーティングでPDCAサイクルが行われている。	・全体的に不十分を感じことがある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	5	・保護者からの意見は職員間で共有し、検討が必要な場合は話し合いを行っている。	・職員の全員が保護者の意向を確認できているか、わからないと感じる。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	1	・全体研修や人事考課、個別のヒアリングなどが行われている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	6		・現在は外部評価を実施していないが、必要があれば第三者による外部評価を行っていく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	1	・様々な研修を紹介しており、事業所内でも研修の機会を設けている。	
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	3		・来年度までに公表に向け、現在作成を行っている。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14	2	・アセスメントに基づいて、ニーズや課題を職員間で話し合い、支援計画を作成している。	・アセスメントが限られた中でしか行えず、不十分と感じることがある。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	1	・支援計画を作成する際、児発管を含め支援に携わる職員で話し合い、記録を残している。	・検討が不十分を感じことがある。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16		・日々のミーティングで共有し、支援につなげられている。 ・月1回の会議で支援内容の確認・共有を行い、実施できている。	・おおまかには出来ているが、共有が不十分と感じることがある。 ・個々の対応に差が生じる場合がある。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	6	・日々の行動観察などのインフォーマルなアセスメントは実施している。	・ABAなどを使用して、表として示すことは出来ていない。今後は活用し、検討していきたい。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	1	・具体的な支援内容が設定されており、特に長期休暇では幅広く支援内容の検討を行っている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	6	・職員それぞれが案を出し合い、各部署交替で取りまとめをしている。 ・イベントなどでは役割分担の話し合いをし、準備に臨んでいる。	・活動の準備などを個々で行っているように感じる。声を掛け合い、協力して準備できる環境を整えたい。

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	1	・季節やイベントに合わせた活動を取り入れるなど工夫をしている。 ・活動内容に偏りがある場合は、週毎に語りがないように月の活動を組み立てている。	・製作活動が多く、運動が少ないことがある。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	15	1	・利用児の特性に合わせて、集団活動に参加できるように視覚的な支援を行い、支援計画にも取り入れている。	・ケアなどにより集団での活動が難しいことがある。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1	・朝礼後などに時間を確保し、支援内容や職員の動きなどの情報共有を行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	10	・支援終了後の打ち合わせが難しい為、共有ノートへの記載をし、情報共有に努めている。	・時間の関係で当日の打ち合わせは出来ていない。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	2	・HUGを用いて日々記録を残している。 ・各部署で共有ノートに記録し、検証・改善につなげるよう努めている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	1	・半年に1度モニタリングを行い、計画の見直し、検討を行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	13		・4つの基本活動を組み合わせて支援につなげており、長期休暇では地域見学、お買い物など外出支援を実施できるようにしている。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	16		・個別に対応し、それぞれ児に合った方法をとっている。 ・遊びなどで視覚的に示し、二者選択など自己決定できるように促している。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16		・児発管と支援担当者が参加するように努めしており、会議後は報告書を作成し他職員への周知を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15		・医療に関しては看護師を中心に主治医より指示書を頂き手順書を作成している。 ・必要時には情報共有を行い、支援に臨んでいる。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16		・送迎時に学校での様子や事業所での様子の情報共有を行っている。 ・学校見学を実施し、事業所外の様子を見ることが出来た。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14	1	・共有ノートを用いて情報共有を図っている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	5		・学校を卒業し障害福祉サービス事業所へ移行した経緯まで至っていない為、今後その機会があれば情報提供を行っていきたい。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	2	・支援センターに情報提供し、支援に悩んでいるケースについて助言を頂いた。	・まだ助言を受ける等の経験がないが、必要に応じてスーパーバイズや助言が欲しいと思うことがあるため、機会を設けていきたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	8		・様々な感染症が流行していることもあり、積極的には実施できていない。今後は感染症対策を行った上で実施を検討していきたい。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	7	・支援人数の確保を検討し、可能な範囲で参加するようにしている。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16		・送迎時や連絡ツールにて保護者との情報共有を図っている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	9	・保護者からの相談のちと、支援センターと連携を図り、情報提供を行った。	・保護者に対して研修の案内や情報提供は出来ていない。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	2	・利用契約時に重要事項説明書及び契約書を用いて説明を行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どものや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14		・モニタリングを行い、アセスメントを取り利用児と保護者の意思、意向の確認を行っている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15		・年2回支援計画説明を行い、保護者からの同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画説明や送迎時など保護者に会う機会毎に家庭での様子をお伺いし、悩み事があれば助言等の支援を行っている。 ・相談があった際には、上司や他職員と検討し対応を行っている。 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	8	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会を実施した際に保護者同士で交流を持つことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会やきょうだい同士で交流する機会を設けたいと考えているが、感染症の流行などで実施が困難となっている。今後は感染症対策を行った上で実施を検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者に必ず報告し、対応をしている。 ・マニュアルに基づき、迅速かつ適切に対応できるように取り組んでいる。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGや連絡ツールにて活動や行事について発信している。 ・必要に応じてお便りもお渡ししている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPやSNSが更新されていないと感じる。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報が記載されているものは鍵付きの書庫で管理し、破棄する場合はシェッダーまたは機密書類として配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについて、配慮に不十分を感じことがある。 ・十分注意出来ているが、研修などを行うことでより気を引き締められると考えている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・利用児とはその子にあった意思疎通の方法で、保護者とはコミュニケーションをとりスマートな情報伝達ができるように努めている。 ・意思の疎通、情報伝達が出来るよう視覚的なものを用いて支援を行っている。 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	10		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の流行などで、地域住民を招待した事業所行事は行えていないが、今後は感染症対策を行った上で実施を検討していきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルが作成されており、それぞれに対応した訓練が実施されている。 ・必要時に応じて見直しを行い、その都度改定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への周知に不十分を感じる。 ・行えていない訓練もいくつかある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・年2回避難訓練を実施し、振り返り・反省を行っている。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画説明の際に必ず確認を行っている。発作状況は動画を保護者から提供し確認している。 ・支援計画説明の際に母子手帳やお薬手帳の確認をしている。日頃から利用児の体調を保護者に確認している。 	
非常時等の対応	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で情報共有し、食事準備・介助の際に確認をした上で支援を行っている。 ・アレルギーのある利用児は掲示し、準備の際に確認できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書に記載されている利用児がない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	2	<ul style="list-style-type: none"> ・作成された計画に基づき、研修や訓練を実施している。 ・安全管理の為に緊急時対応を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の人員が少ない時などで安全性に不十分を感じことがある。 ・出勤日数や時間の関係で訓練に参加できないことがある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応に基づいて、保護者と連携が図れるように取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ周知されているか、職員への周知が不十分。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを作成し、朝礼や連絡ツールを用いて職員間での共有を図っている。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な虐待防止研修が行われ、委員会が設置されている。 	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	16		<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画に記載し、事前に保護者への説明を行っている。 ・十分な説明、記載がされており、やむを得ず身体拘束を行った際には状況等を記録し振り返りを行っている。 	